

## ■第2期総合戦略意見募集(パブリックコメント)結果

NO	掲載頁	項目名	件	意見の内容	市の考え方
1	2	成果(アウトカム重視による数値目標とPDCAサイクルの実践)	1	第1期総合戦略が第7版になっているということは、何年度もPDCAサイクルを回して、ふりかえりに基づいてアクションをしてきたのだと思います。ということは、第2期総合戦略は、第1期総合計画の総括を元に立案されたものと思いますが、それぞれの数値目標を見ると、これまでの5年間の計画推進を通して分かったことや計画通りにいかなかったことの原因、あるいはうまくいったことの要因が活かされていないように感じました。すべての実施項目について、第1期総合戦略へのふりかえりと、そこから見えてきた課題を読み解き、そのうえで「戦略」を示していただきたいと思います。	第1期総合戦略は、外部の有識者からなる「総合戦略等推進委員会」において、毎年度、KPIを中心に達成状況等の検証を行っております。その検証内容も踏まえ、第2期総合戦略を策定したところであります。 国は、東京への一極集中に歯止めが掛からない中で、第1期総合戦略に掲げる目標や施策を、引き続き取り組んでいくことが肝要であるとしており、当市でも、これに呼応した形で、第2期総合戦略でも継続して取り組むことといたしました。 また、第2期総合戦略策定以降も、毎年度、検証を行ってまいります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
2	3	第2期総合戦略における施策の方向性	1	他の自治体と横並びの内容では、市の戦略にならないのではないか。七尾らしさを打ち出すことが必要だと思う。	本戦略には、「しごとをつくる」柱の中で、「いきいき七尾魚」のブランド化推進や、先進的な取り組みである「創業に対する支援」、「ひとの流れをつくる」柱の中では、「なお・なかのとDMO」を中心とした観光地域づくりの推進、七尾城跡、和倉温泉お祭り会館などの地域資源を活かした観光の魅力づくりの推進、「地域社会をつくる」柱の中では、「地域づくり協議会を中心とした地域づくりに対する支援など、当市独自の取り組みも記載しております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
3	3,4	4つの柱	1	第2の柱「七尾市にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を活かす」の意味が分かりづらい。しごとをつくり働けるようにするため、人材を活かすことか。人を育てることはもちろんであるが、もっと地域経済を発展させるような意味を込めたものがいいと思います。	ご意見いただきました第2の柱については、分かりづらいつの指摘のあった表記を改め、「担い手を育て、地域産業を支える」と修正いたします。
4	3,4	4つの柱	1	第4の柱「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくる」の「時代に合った地域をつくり」と「活躍できる地域社会」に違いがあるのか。 重複しているのであれば、「時代に合った地域をつくり」は削除してもいいのではないか。	ご意見いただきました第4の柱については、一部で重複した表現があるとの指摘を踏まえ、「安心な暮らしを守り、誰もが活躍できる地域社会をつくる」と修正いたします。
5	5	合計特殊出生率	1	基準値が平成30年であるにもかかわらず、数値が平成20～24年になっているのは何故ですか？平成25年～平成30年を基準値にしてはどうでしょうか。	市の合計特殊出生率は、国が5年間の平均値として算定したものを活用しております。この直近の数値は、平成20年～24年の平均となる1.58であります。 現時点で、平成25年～29年の5年平均値が国から示されていないことから、平成20年～24年の数値を用いております。 ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

## ■第2期総合戦略意見募集(パブリックコメント)結果

NO	掲載頁	項目名	件	意見の内容	市の考え方
6	6	子育て環境の充実	2	子育て環境も重要だがその後の教育について、独自の英語教育やICT教育の充実・地場産業や歴史文化に関する学習するなど特色ある教育を推進し、地元に対する愛着(リターン)や世界で活躍する素地作りも必要かと。	ご意見をいただきました教育環境については、「(2)子育て環境の充実」の中項目に、「②子ども教育の充実」の小項目を新たに追加し、ふるさと教育の推進などを掲げることとします。
7	6	子育て環境の充実	2	現在、すでにゼロですので、追加KPI必要と思われま。年代別転出者の中で、いかに若い世代の転出者の実態が重要かと思われま。	市では、待機児童数ゼロを維持するため、保育士の確保や適切な保育施設の整備などの取り組みをこれまでも行ってきました。今後も、保育サービスの充実を図るうえで、こうした取り組みが重要であると考えていることから、引き続き「待機児童数ゼロの維持」を指標として掲げるものであります。ご理解のほど、よろしく願いいたします。
8	8	新規就農者数	1	第1期の目標に対して非常に低い数値になっていますが、その原因は何ですか？また、それに伴い令和6年度の目標2人で、今後高齢化によって耕作を放棄される農地の維持を図る数として十分なのでしょうか？	第1期総合戦略におけるKPIの根拠は、県及び市の制度を活用する新規就農者数としていましたが、県の助成金制度がH27年度末で廃止されたこともあり、KPIの達成状況が低いものとなりました。こうしたこともあり、今回のKPIの根拠は、国の制度を活用する新規就農者数としております。また、耕作放棄地に対する取り組みは本戦略に記載していませんが、圃場整備をはじめとして市として取り組みを行っております。ご理解のほど、よろしく願いいたします。
9	8	農林水産業の振興	1	②林業の振興と③水産業の創出とブランド化に関するKPIを設けてほしい。特に、林業に関しては「能登の里山里海」を売りしていることと手入れされない里山との整合性がとれるためには、どのくらいの範囲を里山として使い続け、どこからは奥山に戻すなどの方針を決めていくべきではないか。	本戦略の策定主旨である「しごと」づくりの観点から、農林水産業の振興は重要であると考えており、「しごとをつくる」の柱の1つ目に体系立てしております。ご指摘のKPIの設定については、計画期間中において、必要に応じて追加や変更することも考えており、今後の施策の進展等に合わせ、柔軟に対応してまいります。
10	10	みなと・まちなか賑わいの創出	1	このタイミングで立案される戦略に、駅前再開発パトリアの再生について言及されないのは、逆に不自然。駅前に関しての戦略を持たなければ、昭和時代の幻想を引きずったままのキーテナントに専門店というテナント構成で値下げをしていくという失敗の繰り返しになってしまう。ピンホールマーケティングによる広域からの集客と市役所機能と連動した生活関連サービスのテナント構成、減築によるランニングコストカットなど具体的な戦術まで書かずとも、駅前を再活性化させるという方針さえ載らないというのは、不誠実だと感じま。	ご意見をいただきました「駅前の再活性化」については、「○公共交通の結節点という利点を活かしながら、パトリア、ミナクルの2つの駅前ビルが持つ機能を最大限に活用し、駅前周辺のにぎわい創出を図ります。」を施策の基本的方向に追加いたします。

## ■第2期総合戦略意見募集(パブリックコメント)結果

NO	掲載頁	項目名	件	意見の内容	市の考え方
11	11	七尾市にしごとをつくる	1	<p>企業誘致の施策として、七尾市は、首都圏から新幹線で高岡からでも金沢からでも入れ、飛行機での空港や小松空港からでも入れることができる魅力の発信とさらなる首都圏からの所要時間を短くする試みが必要です。例えば、首都圏の企業が、待機児童ゼロの七尾市において、オフィスを七尾に持ってこれるシェアオフィスやそこでのローカル5Gの導入など、若者が首都圏に行かなくても働くことができる環境を創出、PRすることなど、日本の真ん中である七尾市を押し出すような、夢あるアクションもないと若者をとどめることはできないと思います</p> <p>農林水産業も非常に重要ですが、重要だからこそ、そこに七尾の若者が踏み入れる施策は立てられないのでしょうか？</p>	<p>本戦略では、「新たな産業の創出」を掲げ、企業誘致を促進するとともに、安心して働ける場の創出を掲げ、創業に対する支援や事業承継の推進などにより、若者が首都圏に流れずに地域で働くことを促進してまいります。</p> <p>また、ご指摘いただいた首都圏からの所要時間の短縮については、道路網・公共交通の充実を掲げ、アクセス道路やバイパス整備などの道路ネットワークの整備を推進してまいります。</p>
12	11	七尾市にしごとをつくる	1	<p>企業誘致よりも起業家を誘致して、内発的な経済循環を実現することが重要。市内の宿泊施設とワーキングスペースやシェアオフィスを結ぶことで、オリパラを契機としたワーケーションの受け入れ、そのインフラとしての高速インターネット、ローカル5Gの導入などを推進すべきです。能登島に住みたいけれど、通信速度が遅くて・・・と、七尾市内に住んでいる映像クリエイターがいました。集落こそWi-fi環境を整えることは、地方創生で新たなしごとをつくり出すための基本だと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、地域経済の好循環を生み出すことが何より重要であると考えております。</p> <p>本戦略では、創業に対する支援を掲げており、市内で新たにしごとをつくるための取組みを推進してまいります。</p> <p>提言いただいた個別の取組みについては、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>
13	12	観光地域づくり 住みやすい環境づくり	1	<p>七尾市の地域づくり、魅力づくりとして、和倉温泉は重要ですが、七尾市のデカ山は国の重要無形文化財となりました。この祭りを通して、小学生、中学生が、この祭りを守る地域づくりの視点、この祭りの魅力を最大限に創出していく活動を実施することにより、いったん七尾市を出ても七尾に戻ってくる取組みが欲しいと思いました。</p>	<p>本戦略では、「新しい人の流れをつくる」という柱立ての中で、「関係人口の創出拡大」を新たに体系立ていたしました。</p> <p>多様な人々が地域の祭りやイベントに参画することや、大学と連携して学生が七尾を訪れる機会を創出し、彼らに関心を持ってもらうことで、将来的には、当市への移住定住にもつながることを期待して取り組んでまいります。</p>
14	12	住みよい環境づくり	2	<p>豊かな自然と充実した医療・福祉の強みを生かし、誰もが快適で過ごしやすい住環境と新たな社会システムを創出するとともに高齢者福祉・介護事業を含む健康福祉産業の復興を図り、ひいては雇用の創出と若年者の流入・地域経済の復興にも資するために、官民一体となって高いQOLを実現する社会の構築が必要。</p>	<p>本戦略では、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくる」を柱の1つに掲げており、「地域共生社会の実現」という小項目の中で、高齢者福祉、介護、地域福祉といった施策を記載しております。</p> <p>ご理解のほど、よろしく願いいたします。</p>

## ■第2期総合戦略意見募集(パブリックコメント)結果

NO	掲載頁	項目名	件	意見の内容	市の考え方
15	12	住みよい環境づくり	2	ニセコのような外国人に対する地域ブランドの構築、新たな地域産品の創出など観光プラットフォームの構築。 また、海外及び国内でも温泉セットにするなどの医療ツーリズムの強化。	ご意見をいただきました観光プラットフォームの構築については、ななお・なかのとDMOが受け手となるべく取り組んでいるところでありませす。 本戦略にも、ななお・なかのとDMOを中心とした観光地域づくりを推進していくこと、和倉温泉における外国人の誘客の推進を記載しております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
16	15	移住定住施策を通じた県外からの移住者数	1	基準値が年平均45人ということは、第1期の+200人は達成したという理解で良いのでしょうか。5年で200人(年平均40人)に対して、この間に225人だとすると、その成功の要因は何ですか。	第1期総合戦略で掲げた「移住定住施策を通じた県外からの移住者数」については目標値の200人に対し、平成30年度までの実績で215人となっております。 この間、移住の促進のための受け入れ環境の整備や移住相談セミナーの開催など、また、定住の促進のための住宅取得に対する支援や三世代家族の住宅リフォームに対する支援などに取り組んでおり、こうしたことが成果につながったものと考えております。
17	17	災害対策の推進	3	防災・災害時のBCPに通信確保する為にローカル5G活用。同時他接続やトラフィック処理に優れているため。	本戦略は、人口減少や少子高齢化などの課題解決に向けて、「まち」「ひと」「しごと」の創生を図る観点から策定するものであり、「まち」づくりとして、災害対策の推進に取り組むことを記載しております。 行政内部のBCP(業務継続計画)は策定しておりますが、本戦略の策定趣旨から記載はしておりません。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
18	18	持続可能なまちづくり	2	ライフステージに応じた健康づくりや未病から予防までのプライマリーケアの確立。 一人暮らし高齢者や認知症高齢者が増加しており、社会的孤立や虐待などに対応した地域ぐるみの見守り事業や地域包括ケアシステムの更なる充実。 子供からお年寄りまで全ての人々が尊ばれ、年齢、性別、障害の有無にかかわらず人権が守られ、住み慣れた地域で安心した自立生活が送れるよう自助・共助・公助の仕組み作り。 健康寿命延伸の為に小児からの生活習慣病対策や食生活改善、寝たきりや認知症にならないように介護予防に各種団体と連携。	本戦略では、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくる」を柱の1つに掲げており、「地域共生社会の実現」という小項目の中で、壮年期からの健康づくり、介護予防を推進するとして施策の方向性を記載しております。 また、地域住民のあらゆる人が役割を持ち、支え合いながら活動できる地域社会の実現を目指し、包括的な支援体制の充実を図ることも、施策の基本的方向として位置づけております。

## ■第2期総合戦略意見募集(パブリックコメント)結果

NO	掲載頁	項目名	件	意見の内容	市の考え方
19	3、18	施策の方向性 持続可能なまちづくり	1	市民に総合戦略の認知度を上げる、SDGs認知度を上げる活動を展開することにより、より効果が上がり、KPIの達成が期待できると思います。具体的取り組みになるのかも知れませんが、現在、地域活動をしているのは、定年になった方々が多いのではないのでしょうか？小学生、中学生を対象に、戦略をすすめていかないと流失は止められません。その視点が欲しいです。他の市では、小学生、中学生、高校生その保護者を対象とした企画を多く行っています。七尾市の魅力をもっともっと小学生、中学生に伝えて行く活動が必要と思われます。	本戦略では、施策を推進するうえで、SDGsの理念に沿うことで、施策全体の最適化、課題解決の加速化に加え、SDGsの認知度向上にも役立つものと考え、中項目ごとに該当する目標を掲げることとしております。 また、学校、家庭、地域において、小、中学生に七尾の良さを伝えていく機会を設けることを促していきたいと考えております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
20	18	SDGs 3 すべての人に健康と福祉を	1	「SDGs3 すべての人に健康と福祉を」 これについて、七尾市としてはどうするのでしょうか？人生100年時代を見据えた健康づくりと介護予防について、安心の医療体制と介護サービスの充実についての記載がないのではないのでしょうか？	本戦略の策定にあたっては、「まち」「ひと」「しごと」づくりに資する施策を、働ける場の創出などによる「しごと」づくり、子育て環境の充実による「ひと」づくり、地域づくり協議会を中心とした「まち」づくりなど、施策や方向性をある程度、選択と集中することにより体系立てをし、策定しております。 本戦略中、「地域社会をつくる」の柱には、「地域共生社会の実現」を掲げ、健康づくりや介護予防、地域福祉などについて記載しております。 ご指摘の医療などの記載がないものもありますが、第2次総合計画には、しっかりと明記しており、市としてしっかりと施策に取り組んでおりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
21	全ページ	第2期総合戦略における施策の方向性	1	全体的に掲げている項目とKPIが合っていないと感じました。本当に、それが業績評価に「重要」な指標になっていますか？もう一度、見直しをお願いします。3ページにあるような横断的な視点こそが「戦略」だと思います。多様な人材の活躍を推進する⇒オープン戦略、新しい時代の流れを力にする⇒スピード戦略など。この戦略が、市民に共有されることが重要だと考えます。	本戦略に掲げるKPI数は17個設定しており、うち第1期総合戦略から継続して掲げるKPI数は10個あります。 また、しごとの柱では「新商品の開発」、人の流れの柱では「大学の活動件数」など7項目を新たにKPIとして設定いたしました。 こうしたKPIは、施策や取組みを推進するための目標を、数値で分かりやすく示したものであり、一つの目安となるものであります。この数値などを活用しながら、効果検証を行っていくものであります。 ご理解のほど、よろしくお願いいたします。